



ゆうひ

《発行》 第194号
神辺地域振興課（神辺支所内）
電話 084-962-5026
「ゆうひ」は、福山市ホームページでもご覧いただけます。



3月1日 神辺町合併20年 ～これまでの20年、これからの20年～

2月20日（金）にかんなべ市民交流センターにて自治会連合会神辺ブロックの皆さんと『神辺町合併20年』にあたり意見交換を行いました。

合併後これまでの20年では、子育て世代を中心に人口が約5,000人増え、今月末には川南土地区画整理事業がおおむね完成する等都市インフラ整備や、神辺駅西側の新たなまちづくりが着実に進み、地域の皆さんの期待も高まっています。一方、これからの20年では、市街化区域外では地域コミュニティの維持や空き家等問題を懸念し、自治会加入の条例化も一つの案と提案がありました。また、神辺の地域特性の一つである自然はもとより、緑樹を身近に感じられる公園や街並み、農業の振興について期待する声や、公共交通の充実や渋滞の緩和、民間企業活動が住環境へ及ぼす影響への配慮について意見が出されました。

引き続き、官民が顔の見える関係の中で対話をしながら、地域住民にとって住みやすく心豊かに暮らすまちづくりを進めていくことを確認しました。



神辺町合併20年を振り返って ～ 福山市自治会連合会 神辺ブロック長 高野 孝行 ～

福山市自治会連合会神辺ブロック長の高野です。

神辺町が福山市と合併し、3月1日で20周年を迎えましたことに地域の皆様方とともに喜びを申し上げます。また、これまでご尽力をいただきました皆様方にこの場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、この20年を振り返りますと、合併当初は各種制度等の違いに不安を感じた一方で、地域への強い想いを改めて感じ様々な活動に取り組んだことが走馬灯のように思い出されます。そうした中、全国的に少子高齢化が進んでいるところですが、神辺町の人口は約5,000人増加しており、とりわけ若い子育て世帯が増えてきています。しかしながら、2018年（平成30年）の豪雨による災害は未だに忘れることがなく、防災意識をより強く持つきっかけになりました。また、世界的に流行したコロナ禍においては、2020年（令和2年）に福山市で初めてのコロナ感染が確認されて以降、感染者数が増加の一途をたどり、2023年（令和5年）5月頃までの3年余りに渡って様々な行事等の制約を余儀なくされました。

これからの将来を考えると、人口減少や少子高齢化、価値観の多様化、経済の停滞や物価高、自然災害などの心配事も多々ありますが、行政とオール神辺で協力することで、新たな創意工夫をしながら未来志向でより住み良いまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

神辺地域のますますの発展と地域住民の皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

事業報告

大人の絵本会 ～絵本を通して 心の交流～

2月13日（金）かなべ市民交流センターにおいて、講師に奥田かずみさんをお迎えし、人権・社会教育活動事業「大人の絵本会」を開催しました。第一部では参加者が大切している絵本・大好きな絵本を持ち寄り、絵本にまつわるエピソードや、読み聞かせをするときに大切にしていることなどについてグループワークをしました。第二部では、講師の奥田かずみさんに絵本の読み聞かせ・紹介をしていただきました。（ふわふわちくちく なまえのないねこ Life（ライフ））どの絵本も人に寄り添い、相手を大切にするという内容の絵本でした。



参加者のアンケートでは、「読み聞かせ活動をしていることもあって「絵本の持つ力」をあらためて感じることができました。人と人とのつながり、メッセージが心豊かにしたり、柔らかくしてくれたりするということ、考えることができました。命・人権について考える良い機会を与えてもらいました。」「今後も大人の絵本会を実施してほしいです。Life（ライフ）という絵本が心に残りました。何も無いのではなく、今大切にしているものを見つけ、伝えることの努力をしていきます。」最後に、人権とは、誰もが生まれながらに持っている人間として幸せに生きるための権利で、



私たちの日常を支えるとても身近で大切なものです。まずは一番近い家族との関係、友人知人との関係、皆さんがお住いの地域の中で、周りの人を大切にすることから心がけていけたらと思います。

※たくさんの申込をいただき、今回参加できなかったみなさま本当に申し訳ありませんでした。

かなべ図書館

TEL084-962-5053

展示

「かなべ図書館 ANNIVERSARY YEAR」

3月18日(水)～5月18日(月) 神辺図書館 玄関フロア

地域とともに歩んだ
30年を振り返ります

今年かなべ図書館は開館30年です。また、福山市と神辺町が合併して20年になるため、かなべ図書館の歩みとともに、神辺町の移り変わりを紹介します。

【かなべ図書館開館時間】

月～金 10時～19時 / 土・日・祝 10時～18時 【3月・4月の休館日】 3/17(火)・4/21(火)

多文化共生のまちづくり ～みんなちがって みんないい～

3月2日（月）～3月13日（金）かなべ市民交流センター1階エントランスホールにおいて、多文化共生について全市一斉啓発の展示を行いました。

すべての市民の人権が尊重され、誰もが参画できる多文化共生のまちをめざすため、福山市多文化共生推進プランを策定しました。福山市内には、いろいろな国の人が、いろいろな在留資格（日本で活動できる資格）をもって、2025年5月末時点で66カ国12,302人の外国人市民が暮らしています。福山市での多文化共生の取組として、地域日本語教室や多文化共生理解講座を開催し、「やさしい日本語」について学んだり、グループワークをするなどして多文化共生への理解を深めます。

また、日本語が十分に理解できない外国人住民が、災害時の対応や子育てなどで困らないよう通訳などでサポートする多言語サポーターボランティアの養成や、外国人相談窓口での生活に関する相談に対応します。そのほか、ふくやま国際交流協会の取組として、外国人住民の日本語学習支援や地域住民との交流事業、多文化共生に関する情報発信などを行っています。



「互いを認め合い 多様性を活かに みんなで創る 多文化共生のまち」

「多文化共生」…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。